

令和4年度 事業所における自己評価結果 児童発達支援センター「ひまわり」（公表）

公表 令和5年3月

	チェック項目	はい (人)	いいえ (人)	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が始動訓練室等スペースとの関係で適切であるか	39	7		・ほかほかの部屋では、バギーや座位保持椅子等が部屋にあるとスペース的にもう少し広いと良いかと思う。
	② 職員の配置数は適切であるか	34	12		・在籍数に対する配置は適切であるが、個別に対応を考えると大変な時もあり職員数に余力が必要。 ・1対1でかかわれる時間が少ない。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	36	10	・パーテーションや視覚支援などを用いて構造化を心がけている。 ・ほかほかすみれ組トイレに汚物処理槽が設置された。 ・会議室の床が失尿による汚れにより衛生面気になっていたが、クッションフロアに張り替えられふき取りやすく衛生的になった。	・木造棟の入口は車いす・バギーの方がよく使用しているので自動ドアにした方がいい。
	④ 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	31	15	・毎日、ドアノブや電気スイッチ、手すり、おもちゃなどの消毒している。	・夏場園庭や芝生広場の草が伸び茂みの様子があり、草刈りを数回実施しているが草刈りの頻度が増えるかと思う。草刈りの時期等は施設側と事務局側とで分かりやすく決めていく。 ・建物の構造上、高い所の掃除が難しいため、業者へ依頼して常に衛生的にしていく。 ・収納スペースが少ないので、整理整頓に努める。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標と設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	39	7	・クラス会議を行っている	・担当者だけの話になりがちなので、会議等で振り返りについて共有していく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	45	1		・振り返りをし次年度につなげる。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価をおこなうとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	45	1		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	42	2		
	⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	45	1	・職員が振り分けて色々な研修を受けている。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	45	1	・クラス会議・支援会議を通してアセスメントや適切な対応と支援を検討している。	
	⑪ 子どもの適応状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	31	14		・標準化されたツールを利用し、客観的に評価できるようになると良い。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	45	1		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	46	0		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	44	2		
	⑮ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	44	2	・新しいものを取り入れるように心がけている。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	46	0		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	39	7	・親子通では、事前事後のカンファレンスを丁寧におこなっている。	・いるメンバーでは行っているがバスの添乗職員もいるため全員での打ち合わせが難しい。前日に打ち合わせを行うなど工夫が必要である。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをしその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	42	4	・必要なことは必ず振り返りをするようにしている。	・文書作成等の業務が多くゆとりがないので、業務内容を整理し職員間で共通理解する方法を工夫していく。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	43	3	・ケース記録を毎日記入する。行動記録等も必要に応じて記入している。	
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	44	2			
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	45	1		
	㉒ 母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援をおこなっているか	46	0		
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	46	0		
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	46	0		
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	45	1		・もっと相互の理解を深めるためにはどうしたらよいか？こちら側だけでなく、毎日の少しずつの積み重ねを園の方でどうしたら良いか、もっと気さくに話し合える関係性をつくりたい。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	46	0		
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	43	3		
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	42	4	・交流保育をコロナの状況を見て配慮をする中で実施した。	
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	32	14	・法人や施設としては参加している。	
	㉚ 日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	46	0		
	㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	45	1		
㉜ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	45	1			

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	46	0		
	③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	44	2		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	41	5		・今後保護者間の交流が深められるようにしていく。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談の申し出があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	46	0	・保護者からの相談や気になる点について必要に応じて面談や家庭訪問、関係機関への連携を図っている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	42	4		
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	46	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	45	1		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	44	2		
非常時等の対応	④①	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	45	0	・マニュアルに基づいて訓練を実施している。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	45	1	・火災・地震等想定される状況での訓練の実施と反省を月一回行っている。	
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	46	0		
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	45	1		
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	44	2	・ヒヤリハット事例は施設内で共有されている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	45	1	・虐待防止研修を行っている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	45	1		